

韓国人日本語学習者の「ナ形容詞」と「スル動詞」の 習得についての教育介入研究

星 野 淳 也

1. 研究の動機

本研究の動機は、筆者の日本語教育の経験から、韓国人日本語学習者が「ナ形容詞」や「スル動詞」の活用を学習する際に、形態的な活用のルールを習得することが困難と感じたことである。

日本語と韓国語は文法構造や語順などがほぼ完全に同じとされており、様々な共通点が見られるので、韓国人も日本人もお互いの言語を学習し易いと言える半面、似ているからこそ、同じではない部分を混同し易く、母語の干渉による誤用を起しがちである。このような誤用を防ぐには、まず、何が似ていて、何が違うのかを比較対照し、異同を明確に学習者に提示する必要がある。さらに、学習者の誤用の原因を明らかにして、韓国人日本語学習者に対する日本語教育の改善に役立てなければならない。このように考えたことが本研究の動機である。

2. 先行研究

韓国語教育の教材では、日本語と韓国語の異同について、一般に次のように説明されている。

- ・文法構造や語順などがほぼ完全に同じである。
- ・日本語では、動詞、イ形容詞、ナ形容詞の区別が形態的にはっきりしているが、韓国語では動詞・形容詞共に辞書形は語尾が同形（-다）で形態的な区別がない。

このような日本語と韓国語の異同についての説明は、日本語教育の教科書や参考書には管見の限り見当たらない。そこで、本研究では日本語と韓国語の異同を明確に学習者に提示するために、次の2つの先行研究を参考にした。

- (1) 上原・熊代 (2007)：韓国語の属性から動作に至る意味地図

- (2) 尹 (2002)：韓国語の漢語動詞と漢語形容詞の区分

(1) は、韓国語の形容詞と動詞の区別について、それぞれが修飾機能と述定機能（下称現在形）とに活用する際に見られる形態的な違いは何かを形式づけるのに参考にした。

(2) は、漢語名詞 + 하다（動詞・形容詞）における形態的な違いについて、漢語名詞を漢語動詞と漢語形容詞に活用させるのに参考にした。

(2) が、連体形と現在終止形とに区分しているというところは、(1) の意味地図が、修飾機能と述定機能とに区分しているのと同じだが、両者の違いは、(2) の区分においては、連体形（修飾機能）は現在形と過去形の二点を比較の対象としているところである。

3. 研究の目的と意義

本研究の目的は次の通りである。

- (1) 漢語名詞 + 하다 が、上原・熊代 (2007) の意味地図のように、動的な意味をもつ場合と静的な意味をもつ場合、それぞれでどのように活用形態が異なってくるかを学習者に明確に示す教材を開発する。
- (2) (1) で開発した教材を用いることによって、韓国人日本語学習者の活用の理解度が向上するかどうかを、教育介入研究の方法で明らかにする。

(1) の漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類を明確に示す教材を提示することの意義は、文法・作文・会話の学習に貢献することである。そのことを検証するために、この教材を用いない授業の後のテストと、教材を用いて授業した

後のテストで活用形態の理解度がどの程度向上したかを明らかにする。

4. 研究の方法

4-1. 研究の対象

目的（1）の教材開発のために、別府大学日本語教育研究センターで使用している教科書と、その解説書から例文を採取した。

目的（2）の教育介入研究では、現在、別府大学で日本語を学習している韓国人留学生68人を対象とした。

4-2. 教材の開発

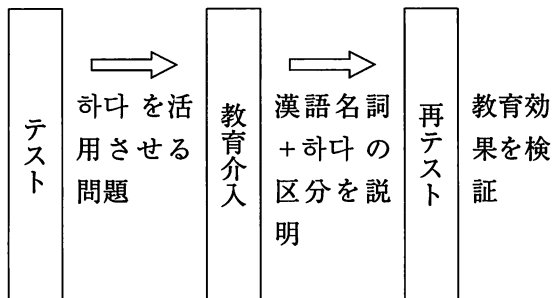
日本語教育教科書の中から例文を採取し、分析することによって、漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類を明確に示す教材を開発した。

まず、“하-”を伴う形容詞・動詞の例文を採取し、それらが日本語の動詞・イ形容詞・ナ形容詞のどれにあてはまるかを述べた。

次に、本稿の目的である漢語名詞 + 하다 が、日本語学習者の教科書において、どのように取り扱われているかを、例文を挙げて、形容詞的意味（修飾機能か、文末（普通体現在形）か）、動詞的意味（修飾機能か、文末（普通体現在形）か）に分類しながら分析した。

4-3. 教育介入研究

まず、하다 を活用させる10問の問題を解いてもらった。それを回収し、次に教育介入として、漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類を記した教材を配布し、説明を加えた。そして、再度하다 を活用させる10問の同じ問題を解いてもらった。その結果、参考資料を提示する前と、提示した後とで、正答率にどれだけの差が生じるかを調べ、学習効果を検証した。



5. 結果と考察

5-1. 漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類を示す教材

日本語教育教科書の用例分析の結果、日常の会話において漢語名詞を修飾機能と文末（普通体現在形）に用いる際には、状態性のある語・動作性のある語、それぞれの場合において、その活用に次のようなルールがあることが明らかになった。

漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類

	辞書形	修飾機能	文末 (普通体現在形)
形容動詞	N 하다	N 한	N 하다
(例) 「健康」	건강하다 健康だ	건강한 (사람) 健康な (人)	건강하다 健康だ
動詞	N 하다	N 하는	N 한다
(例) 「運動」	운동하다 運動する	운동하는 (사람) 運動する (人)	운동한다 運動する

“漢語名詞 + 하다” が、形容詞一般（静的な意味をもつ場合）

- ・修飾機能においては -한 形をとる。
- ・文末（普通体現在形）においては -하다 形をとる。

“漢語名詞 + 하다” が、動詞一般（動的な意味をもつ場合）

- ・修飾機能においては -하는 形をとる。
- ・文末（普通体現在形）においては -한다 形をとる。

形容動詞（ナ形容詞）【修飾機能】

例：왓트 선생님은 친절 (한) 선생님이십니다.

h a n

ワット先生は親切な先生です。

『みんなの日本語 初級 I』

形容動詞（ナ形容詞）【文末（普通体現在形）】

例：왓트 선생님은 친절 (하다).

h a d a

ワット先生は親切だ。

動詞【修飾機能】

例：유학 (하는) 나라와 지역에 관계없이 누구라도 응모할 수 있습니다.

h a n u n

留学する国や地域によらず、だれでも応募できます。

『日本語中級 J 501』

動詞【文末（普通体現在形）】

例：유럽에 유학 (한다).

h a n d a

ヨーロッパで留学する。

5-2. 하다 の活用形態を提示したことによる学習効果

調査結果はグラフで示した。グラフは学習歴によって、入門・初級・中級・上級の四つに分けた。また、10問の問題のそれぞれの正答率を、教育介入前後で比較した比較棒グラフで示した。また、漢語名詞 + 하다 の活用形態の分類ごとに、教育介入前後の正答率を比較した比較棒グラフでも示した。

図1は、入門レベルの学習者に対する問題の正答率を示したものである。韓国語を書かせる問題は図1-1で各問題別に、図1-2で機能別に表し、日本語を書かせる問題は、図1-3で各問題別に、図1-4で機能別に表した。これらの図から、入門レベルの被験者は上級レベルの被験者と比べても、教育介入の前後共に、正答率の差が殆どない、若しくは入門レベルの被験者のほうが正答率が高いことが分かった。

図2は、初級レベルの学習者に対する問題の正答率を示したものである。韓国語を書かせる問題は図2-1で各問題別に、図2-2で機能別に表し、日本語を書かせる問題は、図2-3で各問題別に、図2-4で機能別に表した。これらの図から、初級レベルの被験者は他のレベルの被験者に比べて、教育介入前後の学習効果が最も顕著に表れることが分かった。

図3は、中級レベルの学習者に対する問題の正答率を示したものである。韓国語を書かせる問題は図3-1で各問題別に、図3-2で機能別に表し、日本語を書かせる問題は、図3-3で各問題別に、図3-4で機能別に表した。これらの図から、“漢語名詞 + 하다”が動詞一般(動的)の意味をもつ場合、文末(普通体現在形)では -한다 形に活用させることが出来るかを問う問題では、教育介入前は0%の正答率であったのが、教育介入後には40%近くまで上がり、上級レベルの被験者に比べ、学習効果が表れることが分かった。

図4は、上級レベルの学習者に対する問題の正答率を示したものである。韓国語を書かせる問題は図4-1で各問題別に、図4-2で機能別に表し、日本語を書かせる問題は、図4-3で各問題別に、図4-4で機能別に表した。これ

らの図から、“漢語名詞 + 하다”が動詞一般(動的)の意味をもつ場合、文末(普通体現在形)では -한다 形に活用させることが出来るかを問う問題では、上級レベルの被験者は、他のレベルの被験者に比べ、教育介入前後で殆ど学習効果が表れないことが分かった。

教育介入研究の結果、明らかになったことをまとめると、次のとおりである。

- (1) 全体的に、漢語名詞 + 하다 の区分を記した参考資料を提示する前よりも、提示した後のほうが正答率が上がった。
- (2) (1)の結果が顕著に表れているのは、学習歴が短い入門レベルのほうであった。
- (3) 形容詞的意味で活用する問題のほうが、動詞的意味で活用する問題よりも正解率が高かった。
- (4) 修飾機能で活用する問題のほうが、文末(普通体現在形)で活用する問題よりも正解率が高かった。

6. 結論

以上の結果から分かるように、韓国人日本語学習者が、ナ形容詞とスル動詞の活用形態を習得するために開発した教材は、学習者の理解度を向上させる効果があることが明らかになった。しかし、教育介入研究を行う際の問題点も見えてきた。

入門レベルに比べて、上級レベルの正解率があまり上がらなかったのは、次に述べるような理由によると考えられる。

用言の語形変化のテストに記載してある「日常の会話(現在形)で使われている文になるように」という設問の指示を読まずに回答に取り掛かる被験者が多かったため、過去形にしたり、普通体を丁寧体にしたりと、指示通りに問題を解かなかつたための誤答が上級レベルに多かった。そのことが最も表れているのが(3)である。日常の会話において、動詞的意味で文末(普通体現在形)に使う場合の -한다 は、教育介入の際に参考資料に基づいて解説しても、-하다 と書いて譲らない被験者が多かった。

よって、(4)のように、文末(普通体現在形)で活用する問題の正解率が低くなるという結果になった。

7. 今後の課題

本研究によって、韓国人日本語学習者が「ナ形容詞」や「スル動詞」の活用を学習する際に、母語の干渉によって起こる誤用の実態を把握し、原因を分析することが出来た。その結果、習得が困難な学習者に対して理解度が向上する教材を開発、提案することが出来た。

今後は、この教材を活用することによって、韓国人日本語学習者に対し、「ナ形容詞」や「スル動詞」の活用を教育する際の日本語教育の改善に役立てていく。また、本研究を発展させ、「ナ形容詞」や「スル動詞」の活用以外の文法においても学習者の誤用の実態を把握し、原因を分析し、異同を明確に学習者に提示することで、日本語教育を改善していくことが今後の課題である。

参考文献

- 庵功雄・高梨信乃・中西久実子・山田敏弘
2000.『初級を教える人のための日本語文法
ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 李昌圭 2006.『文法から学べる韓国語』ナツメ
社
- 李光秀「日本語「スル」動詞と韓国語「h a
d a」動詞の対照的研究」(1985. 筑波大学
国語国文学会 pp.1-11 所収)
- 上原聡・熊代文子 2007.『音韻・形態のメカ
ニズム』研究社
- 梅田博之「朝鮮語と日本語の述語構造の枠組」
(1990.『日本語教育 72号』日本語教育学会
pp.42-52 所収)
- 梶村秀樹「ハンゲルのすすめ」(1984.『別冊宝
島 10日間のハンゲル』JICC出版局 所収)
- 金田一春彦「国語動詞の一分類」(金田一春彦
編 1976.『日本語動詞のアスペクト』麦書房
pp.7-26 所収)
- 小林英樹 2004.『現代日本語の漢語動名詞の
研究』ひつじ書房
- 三省堂編集所 2005.『新しい国語表記ハンド
ブック 第五版』三省堂
- 鈴木丹士郎「動詞の問題点」(鈴木一彦・林巨
樹 編1972.『品詞別 日本文法講座 3 動詞』
明治書院 所収)
- スリーエーネットワーク 2007.『みんなの日本
語 初級 I・II 本冊』スリーエーネットワ
ーク
- スリーエーネットワーク 2007.『みんなの日本
語 初級 I・II 教え方の手引き』スリーエ
ーネットワーク
- 高橋太郎(1974)「連体形動詞のもつ統語論的
な機能と形態論的な性格の関係」(松本泰丈
編(1978)『日本語研究の方法』むぎ書房
pp.233-258 所収)
- 高見澤孟・伊藤博文・ハント蔭山裕子・池田悠
子・西川寿美・恩村由香子 2004.『新・はじ
めての日本語教育 基本用語事典』アスク
- 田野村 忠温「サ変動詞の活用のゆれについて・
統一大規模な電子資料の利用による分析の精
密化一」(2009.『日本語科学』25. pp.91
-103 国書刊行会 所収)

- 田村 宏「日本語と朝鮮語の単漢字漢語用言比較」(1992.『九州大学 留学生教育センター 紀要』 4.九州大学 留学生センター pp. 71-92 所収)
- 土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・石沢弘子 1999.『日本語中級J 501』スリーエーネットワーク
- 土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・石沢弘子 1999.『日本語中級J 501 教師用』スリーエーネットワーク
- 朴熙泰 監修・申東漢 編著 1991.『日韓熟語対照辞典』国書刊行会
- 黄 正浩「漢字語彙の日中朝対照研究」(1994.『講座 日本語教育 第29分冊』早稲田大学日本語研究教育センター pp.334-358 所収)
- 北條正子「サ変になり得る名詞(漢語)」(鈴木一彦・林巨樹 編1973.『品詞別 日本文法講座 10 品詞論の周辺』 明治書院 pp. 185-230 所収)
- 増田忠幸 2005.『韓国語のしくみ』白水社
- 자어+하-”의 공시적 고찰」(2001.『어문학교육 제23호』 한국어문교육학회)
- 尹 亭仁「日本語と韓国語の漢語動名詞の統語範疇をめぐって」(2002. 神奈川大学『言語研究』 25 pp.117-137 所収)

例文出典

- 李 昌圭 2006.『文法から学べる韓国語』ナツメ社
- スリーエーネットワーク 2007.『みんなの日本語 初級 I・II 本冊』スリーエーネットワーク
- スリーエーネットワーク 2007.『みんなの日本語 初級 I・II 翻訳・文法解説韓国語版』スリーエーネットワーク
- 土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・鶴尾能子 1997.『日本語中級J 301—基礎から中級へ—韓国語版』スリーエーネットワーク
- 土岐哲・関正昭・平高史也・新内康子・石沢弘子 2001.『日本語中級J 501—中級から上級へ—韓国語版』スリーエーネットワーク
- 増田忠幸 2005.『韓国語のしくみ』白水社

正答例と誤答例

問題：日常の会話（現在形）で使われている文になるように、「하다」を適当な形に変えて、（ ）の中に入れて下さい。また、韓国語の訳として適当な日本語を []の中に入れて下さい。

修飾機能

設問のねらい：問題 1・3・5……“漢語名詞 + 하다”が、形容詞一般（静的）の意味をもつ場合、-한 形に活用させることが出来るか。“漢語名詞 + な”と訳せるか。

問題 2・4……“漢語名詞 + 하다”が、動詞一般（動的）の意味をもつ場合、-하는 形に活用させることが出来るか。“漢語名詞 + する”と訳せるか。

1. 무리 () 다이어트는 몸에 좋지 않아요.

[] は体によくありませんよ。

正答例：(한)

正答例：[無理なダイエット]

誤答例：(하는) …ナ形容詞とスル動詞の混同。形容詞を使うべきところで、動詞を使う誤り

誤答例：[むりするダイエット] …ナ形容詞とスル動詞の混同。タに濁点がない。

[無理したダイエット] …ナ形容詞とスル動詞の混同。過去形にしている。

[むりしてダイエットすること] …ナ形容詞とスル動詞の混同。テ形にしている。

2. 뭐든지 도전 () 마음이 중요하군요.

何でも [] が大切なんですね。

正答例：(하는)

正答例：[挑戦する気持ち]

誤答例：(하면) …仮定形にしている。

(하고자하는) …意向形にしている。

(에는) …하다を活用させていない。

誤答例：[挑めば心] …仮定形にしている。

[ちょうせんしよう心], [挑戦しようとする気持] …意向形にしている。

3. 이것은 매우 유명 () 영화입니다.

これはとても [] です。

正答例：(한)

正答例：[有名な映画]

誤答例：(했던) …ナ形容詞とスル動詞の混同。過去形にしている。

誤答例：[有名したえいが] …ナ形容詞とスル動詞の混同。過去形にしている。

4. 스키 씨가 다음 달에 결혼 () 것을 알고 있습니까?

鈴木さんが来月 [] を知っていますか。

正答例：(하는)

正答例：[結婚するの]

誤答例：(한) …過去形にしている。
(할) …未来形にしている。
(한다는), (하시는)
誤答例：[けっこんした] …過去形にしている。
[結婚されること] …敬語にしている。

5. 필요 () 경우에는 담당자에게 말씀하십시오.
[] は係に言ってください。
正答例：(한)
正答例：[必要な場合]
誤答例：(할) …未来形にしている。
(하신) …敬語にしている。
(없는) …하다を活用させていない、否定形にしている。
誤答例：[必要する場合に] …ナ形容詞とスル動詞の混同。
[ご必要の際] …敬語にしている。

普通体 (文末)

設問のねらい：問題 6・9……“漢語名詞 + 하다”が、形容詞一般（静的）の意味をもつ場合、
-하다 形に活用させることが出来るか。“漢語名詞 + 다”と訳せるか。

問題 7・8・10……“漢語名詞 + 하다”が、動詞一般（動的）の意味をもつ場合、
-한다 形に活用させることが出来るか。“漢語名詞 + する”と訳せるか。

※問題 7・8・10に関しては、-한다 ではなく -하다 という解答が多かったが、被験者が在籍している大学の韓国語教員や、通訳の仕事をしている韓国人卒業生、また、日本語能力検定試験 N1 に合格し、専門課程で学んでいる韓国人留学生等、15人に確認したところ、全員からこの設問では -한다 が正しいという回答を得た。

6. 이 역은 편리 ().
この駅は []。
正答例：(하다)
正答例：[便利だ]
誤答例：(하네요) …敬語寄りの表現にしている。
(합니다) …敬語にしている。
誤答例：[べんりです], [べんりですね] …敬語にしている。
[更利する] …ナ形容詞とスル動詞の混同。漢字が違う。

7. 소화기를 준비 ().
消火器を []。
正答例：(한다)
正答例：[準備する]
誤答例：(합니다), (하세요) …敬語にしている。
(하자) …意向形にしている。

- (했다) …過去形にしている。
- (해) …命令形にしている。
- (하다) …会話文では한다のほうが適當。
- (합시다) …勧誘の表現にしている。
- (해두다) …「～ておく」の表現にしている。
- (해자) …書き間違い？

誤答例：[じゅんびします] …敬語にしている。
 [じゅんびしよう] …意向形にしている。
 [じゅんびした] …過去形にしている。
 [ようお願い下さい], [じゅんび下さい], [じゅんびしろ] …命令形にしている。
 [準備してください] …依頼形にしている。
 [じゅんびしておく], [用意しておこう] …「～ておく」の表現にしている。

8. 혼자서 여행 (_____).

一人で [_____]。

正答例：(한다)

正答例：[旅行する]

- 誤答例：(합니다) …敬語にしている。
 (할예정입니다) …敬語にしている。「つもり」が余分。
 (가다), (갑니다) …하다を活用させていない。
 (하다) …会話文では한다のほうが適當。
 (했다) …過去形にしている。
 (하자) …意向形にしている。
 (해) …命令形にしている。
 (을 하다) …スル動詞にしている。
 (우ㄷ다) …書き間違い？

誤答例：[りょこうします] …敬語にしている。
 [りょこうするつもりです] …敬語にしている。「つもり」が余分。
 [りょこういく], [りょこう行きます], [旅行に行く] …하다を活用させていない。
 [旅行した] …過去形にしている。
 [りょこうしよう] …意向形にしている。
 [旅行をする] …スル動詞にしている。
 [りょこうしてよ～] …依頼形にしている。

9. 돈을 버는 것은 중요 (_____).

お金を稼ぐことは [_____]。

正答例：(하다)

正答例：[大切だ]

- 誤答例：(합니다) …敬語にしている。
 (한 갈아) …한것 갈아? 文末にしている。「갈아」が余分。

誤答例：[たいせつです], [重要です] …敬語にしている。
 [じゅようです] …敬語にしている。「う」がない。
 [じゅうようだと思ふ] …「と思ふ」が余分。

[重要する], [大切する] …ナ形容詞とスル動詞の混同。

[重要します] …ナ形容詞とスル動詞の混同。敬語にしている。

[大切なことだ] …文末表現にしていない。「なこと」が余分。

[大切なことです] …文末表現にしていない。「なこと」が余分、敬語にしている。

10. 자원봉사에 참가 (_____).

ボランティアに [_____] 。

正答例：(한다)

正答例：[参加する]

誤答例：(합니다) …敬語にしている。

(할예정입니다) …敬語にしている。「つもり」が余分。

(하려고합니다) …敬語、意向形にしている。

(했다) …過去形にしている。

(하다) …会話文では한다のほうが適當。

(합시다) …勧誘の表現にしている。

(한다) …書き間違い？

誤答例：[もうしこみます], [参加します] …敬語にしている。

[参加しましょう] …敬語、勧誘の表現にしている。

[さんかしようとします] …敬語、意向形にしている。

[さんかするつもりです] …敬語にしている。「つもり」が余分。

[さんかした] …過去形にしている。

[参加しよう] …勧誘の表現にしている。

教育介入前後のテスト結果（正答率）

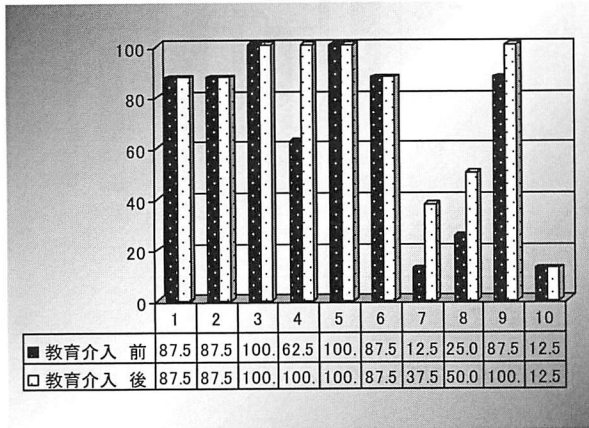


図1-1 入門レベル・各問題（韓国語）

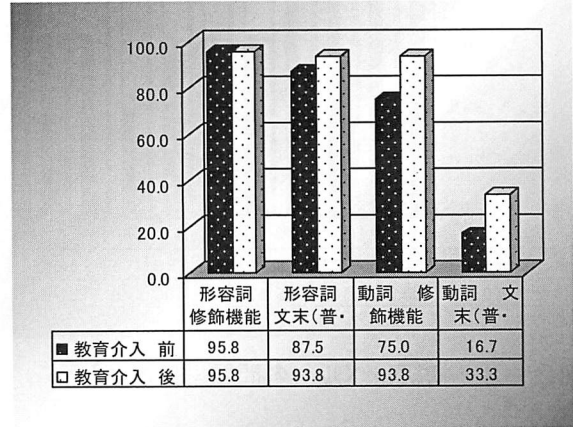


図1-2 入門レベル・機能別問題（韓国語）

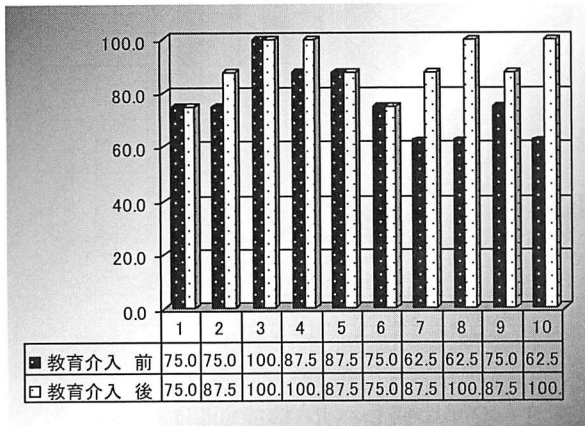


図1-3 入門レベル・各問題【日本語】

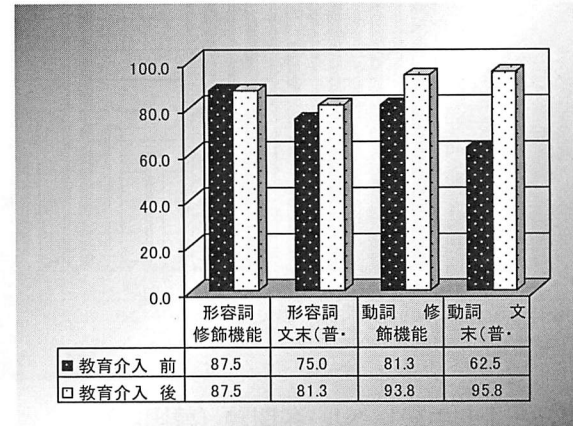


図1-4 入門レベル・機能別問題【日本語】

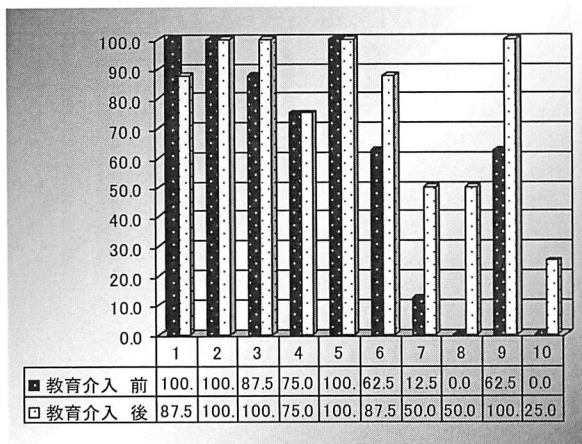


図2-1 初級レベル・各問題（韓国語）

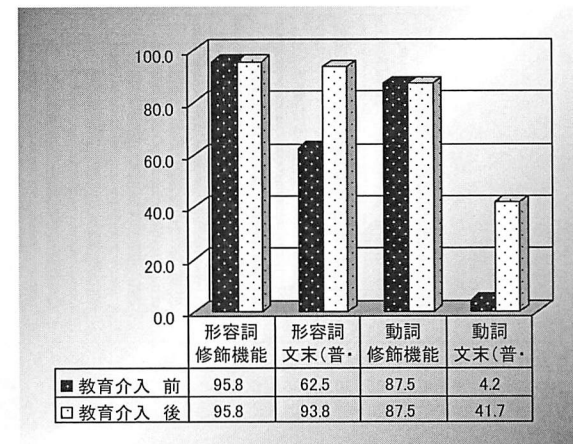


図2-2 初級レベル・機能別問題（韓国語）

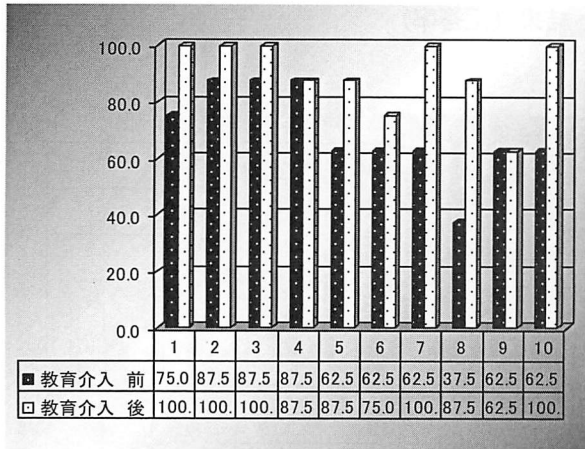


図2-3 初級レベル・各問題 [日本語]

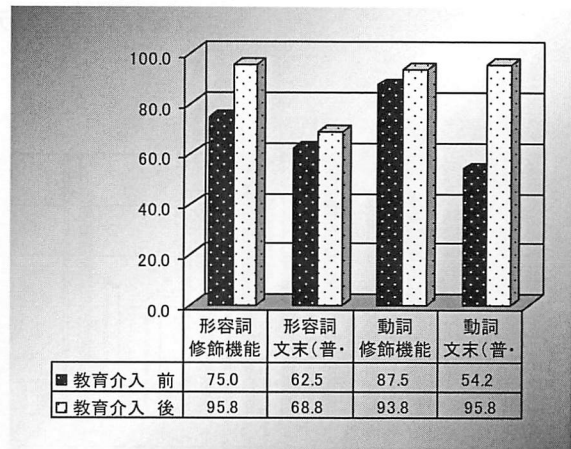


図2-4 初級レベル・機能別問題 [日本語]

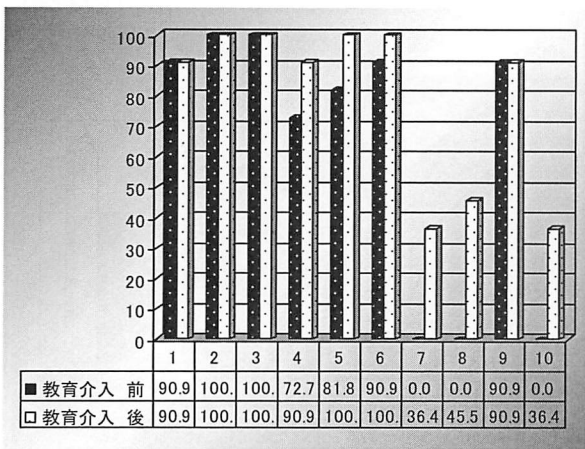


図3-1 中級レベル・各問題 (韓国語)

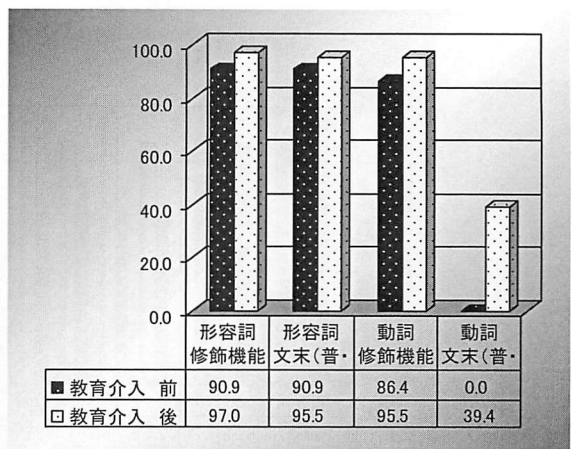


図3-2 中級レベル・機能別問題 (韓国語)

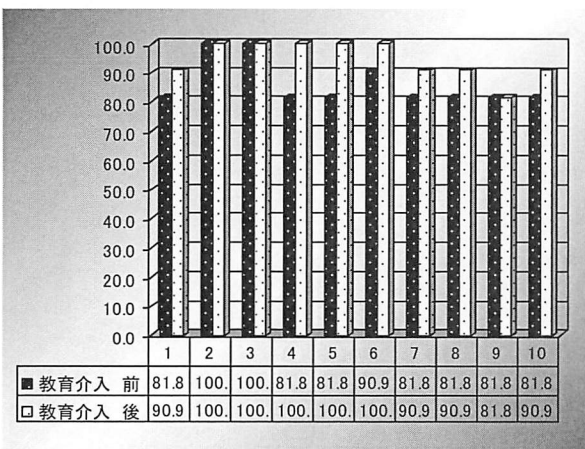


図3-3 中級レベル・各問題 [日本語]

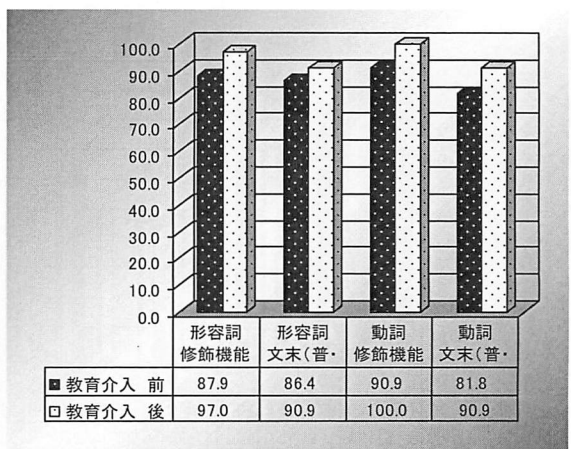


図3-4 中級レベル・機能別問題 [日本語]

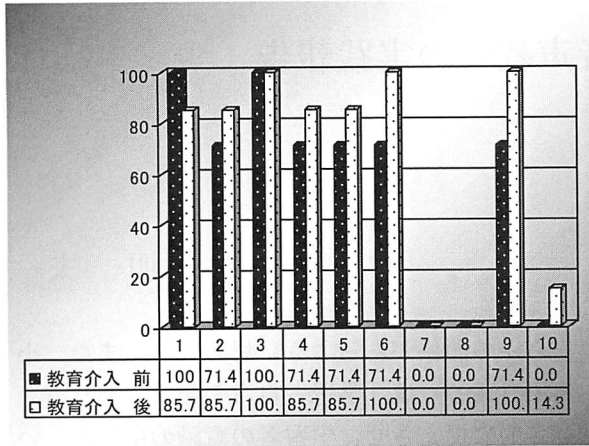


図 4-1 上級レベル・各問題 (韓国語)

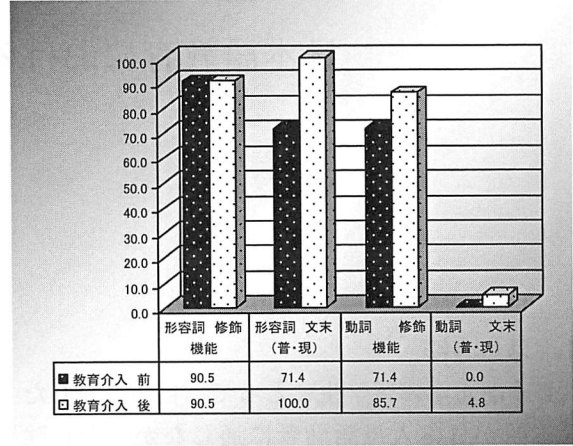


図 4-2 上級レベル・機能別問題 (韓国語)

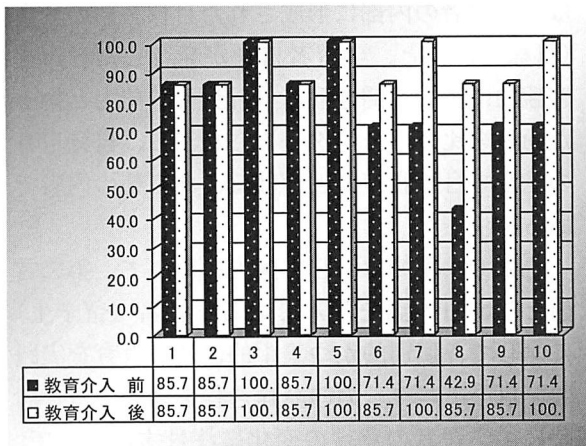


図 4-3 上級レベル・各問題 [日本語]

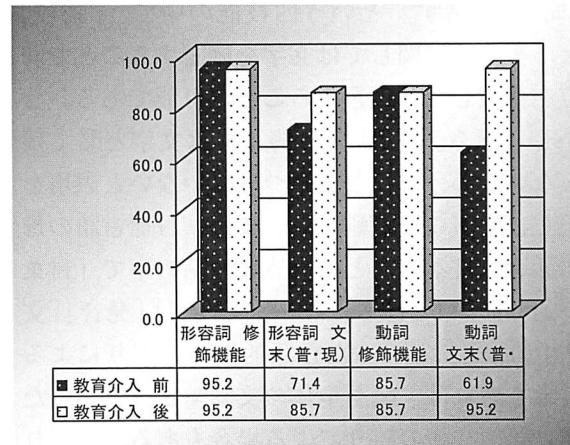


図 4-4 上級レベル・機能別問題 [日本語]